

議会だより



白山市

第22号

2010

平成22年11月



「秋風」

秋が深まる 白山連峰

●写真提供：平本 和男さん（白山市松任美術協会理事）

撮影地：白山市 白峰（西山地区）

[目次]

9月定例会概要	2	行政視察報告	14
一般質問	4	特別委員会活動報告	15
常任委員会レポート	12	市民の声・編集後記	16

9月定例会概要

平成22年第3回市議会定例会
9月2日(木)～17日(金)

平成22年第3回定例会は9月2日から17日まで開催されました。市長から提案された補正予算案5件、条例案3件、事件処分案8件をすべて可決し、人事案1件についても答申しました。なお、平成21年度の決算認定については、次回の定例会までの継続審査となり、今定例会中に設置された決算審査特別委員会(委員長・吉田郁夫、副委員長・小川義昭)に審査を付託しました。

一般会計9億2510万円、
特別会計・事業会計1億5313万円の増額補正を可決

今回の補正を加え、一般会計予算は494億5051万円、特別会計・事業会計の補正を加え、22年度予算総額は816億2537万円となりました。

「財政調整基金」への積み立てに5億22万円

■補正予算案……………5件

一般会計のうち「財政調整基金」への積み立てが54%を占めました。これは平成21年度決算の一般会計において、実質収支額が10億45万円の黒字となることから、国の法律に基づき、その2分の1以上を基金として積み立てることになっており、計上されたものです。また、市の第三セクターであり、5月に解散が決議された株式会社セイモア内尾の特別清算事業として2億2870万円が計上されました。

民生費ではジョイモールの閉鎖に伴い、入居していた「親子よろこびの広場」をサンライフ松任に移転するための事業費として1100万円、郷保育園の保育室増築や西柏保育園の耐震診断補強工事として1667万円がそれぞれ計上されました。

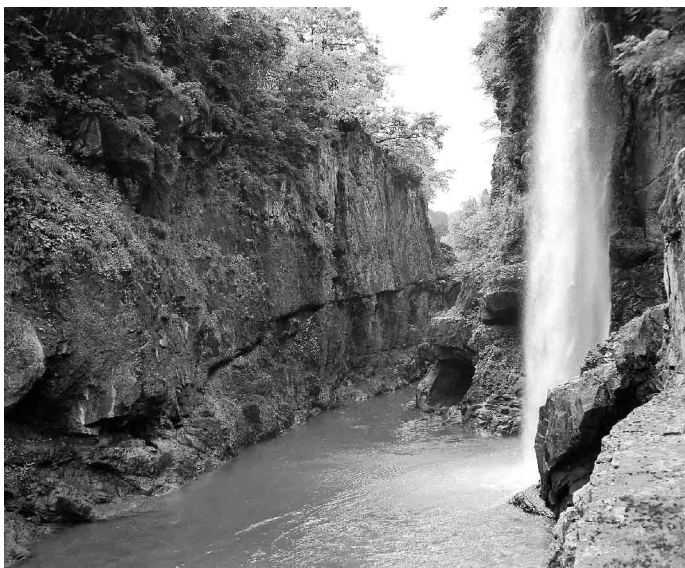
土木費では市道五歩市成線(新田町くあさひ荘苑)の改築事業として用地費等で6900万円を計上、これは平成24年度までの事業であり、債務負担行為※として1億3500万円が措置されました。

※「債務負担行為」 計画された事業が複数年にわたるような場合に、予算であらかじめ債務の負担を決めておくことが必要になる。債務とは経費の支出義務のことであり、総事業費はその年度の予算には含まれないことになる。

消防費では、消防団員の装備品の更新経費として322万円、教育費では、白峰スキー競技場の管理運営費1477万円と中部日本スキー大会開催事業補助金450万円が計上されました。

ほかに新規の事業として、ジオパーク推進事業費に120万円が計上されました。ジオパークとは地質公園であり、白山や白山ろくに数多くの地質資産(ジオポイント)があることから、日本ジオパークへの認定を目指すとしたものです。ちなみに日本ジオパークの認定を受ければ、ユネスコが支援する世界ジオパーク認定の可能性が高まり、観光誘客も期待できることから、県も前向きな姿勢を示しています。

また、特別会計において、介護保険特別会計では支払基金等負担金返還金、水道事業会計では、配水管支障移設事業費などが計上されました。以上、最終日に採決の結果、全員賛成で可決しました。



ジオポイントの1つとして期待される手取峡谷

白山白峰温泉スキー場の用途を体育施設に変更

■条例案……………3件

白山白峰温泉スキー場の運営について、スキー場対策特別委員会で議論が重ねられ、県の支援が見込める2年間の運営を認めることになりました。この決定を受ける形で、これまでの観光施設から体育施設へと用途の変更を行う条例案が提案されました。議案は白峰クロスカントリー競技場と一体的な運営を行うとし、2つの施設を合わせて「白山市白峰スキー競技場」とするものです。さらに、議会最終日に事件処分案として議案が提出され、指定管理者を「特定非営利活動法人白峰スノースポット」に指定することが提案されました。

「白山市景観条例について」は、本市での良好な景観の形成を図るものとして、その基本理念や市・市民・事業者の責務、また、景観づくりに関する施策の基本事項を定め、美しく魅力あふれる景観づくりの推進を目的としたものです。施行期日は10月1日、良好な景観形成のための行為の制限や景観重要建造物等の指定に関する規定は平成23年4月1日に施行されます。なお、これにより、既存の「白山市美しいまちづくり条例」「白山市まちなみ景観条例」は廃止となります。

ほかに、閉鎖されたジョイモールに入居していた「プラスあさがお松任」を商工施設条例から削除するとの条例も含め、採決の結果、すべて全員賛成で可決しました。



白山市白峰スキー競技場として一体的に運営される白峰クロスカントリー競技場

■事件処分案……………8件

主なものとして、道路法の規定により「市道路線の変更について」は、松任北安田地区の土地区画整理事業に伴うもの、「建設工事請負契約について」は主に北陸新幹線建設に伴う市道の付替工事に伴うもので議会の議決を求めるとしたものです。

「第三セクター等改革推進債の起債に係る許可の申請について」は地方財政法の定めにより、株式会社セイモア内尾の特別清算に対し、本市負担の損失補償経費に充当する起債の申請を行うことへの議決を求めたものです。なお、議会最終日に2件、1つは「白山市白峰スキー競技場の指定管理者の指定について」さらに「白山市過疎地域自立促進計画の策定について」が提案され、採決の結果、すべて全員賛成で可決しました。

■人事案……………1件

・人権擁護委員候補者の推薦について

長島 東雄（法仏町） 全員賛成で答申しました。

■議会議案……………1件

【意見書】

・子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書（提出者・宮中郁恵）

HPV（ヒトパピローマウイルス）感染が主な原因である子宮頸がんは、年間約1万5000人が新たに罹患し、約3500人が亡くなっていると推計され、近年は若年化傾向にもあり、死亡率も高まっている。子宮頸がんは「予防できる唯一のがん」と言われ、昨年、予防ワクチンが承認・発売開始となり、ワクチン接種が可能となった。しかし、費用が高額なため、一部の自治体では公費助成を行っているものの、居住地により接種機会に格差が生じることがないよう、国に対し、ワクチン接種や検診実施の取り組みを強く求める。

本議案についても全員賛成で可決しました。

一般質問

そこがききたい 市政を問う

9月定例会の一般質問は、8日、9日の2日間にわたり行われました。

8日の質問議員

- 中西 恵造 議員 4ページ
白山比咩神社と周辺をさらに発信せよ
- 古河 尚訓 議員 5ページ
生活保護の受給者が少ないことの説明を求めたい
- 村本 一則 議員 5ページ
市民サービスに公民館の活用策を検討せよ
- 清水 芳文 議員 6ページ
熱中症対策、高齢者宅への支援拡充を図れ
- 岡田 俊吾 議員 6ページ
学校の統廃合と通学区の変更をいかに進めるのか
- 小川 義昭 議員 7ページ
市内の商店街活性化策を示せ
- 宮岸 美苗 議員 7ページ
視覚障害に対応する市長選・市議選の選挙公報作成を
- 大口 英夫 議員 8ページ
白山白峰温泉スキー場の総括は

9日の質問議員

- 永井 徹史 議員 8ページ
白山ろくの空き家へ、有効な活用策を講じよ
- 小島 文治 議員 9ページ
学校薬剤師の報酬の引き上げ検討を
- 西川 寿夫 議員 9ページ
床昇降式プールの建設を
- 石地 宜一 議員 10ページ
音声告知放送事業の継続を
- 宮中 郁恵 議員 10ページ
放課後の子どもの在り方、どう取り組む
- 本屋 彌壽夫 議員 11ページ
新設白山警察署で運転免許証の交付ができないか
- 寺越 和洋 議員 11ページ
市長の政治姿勢を聞く

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

みなさまの傍聴をお待ちしています

※本会議の傍聴は、当日、市役所7階で受け付けています。一般質問など本会議の詳細な内容は、白山市ホームページでご覧になることができます。



中西 恵造 議員

Q 白山比咩神社と周辺をさらに発信せよ

A 神社を中心として観光資源に活用する

質問 市が争っていた政

教分離に関する裁判、最高裁判所の判決で「神社は地元にとって重要な観光資源である」と判断したことは極めて大切なことである。

白山比咩神社は、全国の白山神社2716社の総本社として、歴史・文化・宗教的にも高い位置にあり、優れた価値を持つ観光資源・財産であると示してく

れたものと私は高く評価する。周辺には、縄文時代中期の集落、舟岡山遺跡や白山比咩神社創祀之地の碑がある舟岡山城本丸跡、県ふれあい昆虫館、獅子吼高原などもあり、県においても極めて力の入るところだ。

市は、国・県とも連携を取りながら、さらに整備を進め、観光資源としての価値の高まりを求める。

市長 白山比咩神社を中心とする一帯の観光振興を図りたい。特に縄文時代からの歴史を誇る舟岡山には貴重な遺跡があり、観光地として地域づくりを考えていきたい。

支援計画が未策定になっていた新聞記事を不

市の地域福祉支援計画を問う

質問 市の地域福祉

「明るくぬくもりのある健康と福祉のまちづくり」を目指すとしている。高齢者の孤立化を防ぎ、弱い立場の方々への配慮、地域で見守り支援する行動が大切である。いかなる計画を作っても、絵に描い

た餅では駄目だ。実際に支援している姿、支援した結果が何よりも大切だ。

23年度中に策定したい健康福祉部長 関連する計画を調整し、高齢者の孤立防止に対応可能な住民参加型の計画を策定したいと考えている。



観光発信の基点、白山比咩神社



古河 尚訓 議員

Q 生活保護の受給者が少ないことの説明を求めたい

A 窓口での申請の制限や、予算の削減はしていない

質問 自治体財政が厳しい中、生活保護の受給者を増やしたくないという意向が全国自治体に見られる。白山市は県の平均をかなり下回っているが、この現状をどう分析しているか。

教育部長 電子ゲームの普及により、自然の中での遊び方を知らない子どもが増えている。現在、白山市では白嶺小中学校裏の雑木林で、地域住民で組織されたグループが、週1回子どもを窓口で制限したり、予算削減はしておらず、適正に相談業務を行っている。保護率が少ないことも、他に地域でできないか、今市に比べて、相互扶助の精神が高いことが要因とされている。

市長 再度、臨時職員を見直す中で、学校が必要とする事務職員については配置すべきと考え、実行している。

教育長 中学校では部活動や進路関係の事務など、小学校に比べて事務が多岐にわたっていることから、中学校について、学級数や事務量の精査をした上で、前向きに検討したい。

白山市版プレーパークを

質問 東京・世田谷プレーパークを視察した。本日も行政が公園を作っているが、それが「安全でこげいなもの」になっており、必ずしも子どもが望む空間とはなっていない。白山市

質問 学校事務職員に対する補助員は合併後、旧松任市基準（生徒数400人

に1人、中学校のみ）に統一され後退した。学校事務は多岐にわたり、多忙を極めている。学校・教職員全体の負担軽減を図る上で、人的支援を行うべきだ。



子どもの自由な遊びが見られる世田谷プレーパーク



村本 一則 議員

Q 市民サービスに公民館の活用策を検討せよ

A 前向きに検討して組織体制を作っていく

公民館を活用した、住民自治の仕組みを進めよ

質問 国の改革の方針は地方分権である。支所の統廃合も重要な財政健全化の課題であるが、自分たちの地域は自分たちでどうするかを考える組織、自治センター機能を兼ね備えた公民館体制とし、支所が統廃合されても住民サービスを保つための公民館の在り方について問う。

地方分権と地域主権、本来の使い方は

質問 「主権」は国に属する概念であり、本来国家統治の権力のこと。地方に主権が認められると大変なことになる。地域主権は間違った言葉の使い方ではないかと思うが、地方分権・地域主権について市長の見解を問う。

中で取り組んでいく。こういう主権を持たせてよいのか。目指すところは同じでも「主権」という言葉は疑問が生じる。分権で結構だ。

市長 地域住民が主体となって地域活性化計画の策定に基づく事業の実行により、地域の均衡ある発展が図られる中で、支所の廃止や公民館での自治業務を行うような形など、本庁方式移行に沿った形の中で、地域の主体性を構築し、その

市長 地域に主権を認めると地域が権限を持つことになる。地方にそ

目指すところは同じだが、分権が良い

目指すところは同じだが、分権が良い



既存の公民館、自治機能を備えられないか



清水 芳文 議員

Q 熱中症対策、高齢者宅への支援拡充を図れ

A 厳しい財政状況等を考慮する中で、検討課題としたい

環境施策について

質問 環境省の「チャレンジ25キャンペーン」運動の一環として、本年6月からスタートした「朝チャレ！」運動を、白山市の環境施策の新しい目玉として推奨することを提案する。

環境部長 環境省の「チャレンジ25キャンペーン」運動の一環として、本年6月からスタートした「朝チャレ！」運動を、白山市の環境施策の新しい目玉として推奨することを提案する。

健康福祉部長 ①ホームペ

市長 ①関係機関の協力を得て、地域のネットワークづくりを推進したい。

症患者を出さないための対策を図れ。
 増え続ける児童虐待対策として、白山市内に児童の保護施設を設置せよ。

教育部長 ③学校での活動中には、休息や給水を十分に取、生徒の健康管理にも十分注意する。スポーツ施設では、水分補給の大切さや定期的な換気などに注意を呼びかけたい。

熱中症対策について
質問 ①熱中症が起きるメカニズムや予防法を書いたチラシを作成し、全戸配布するなど、予防法を普及せよ。②65歳以上の高齢者世帯に、湿度も計測できる温度計を配布、クーラーや除湿機等の購入費補助など、支援策を提案する。③学校やスポーツ施設で熱中

新しい福祉政策について

質問 ①長寿国日本。

しかし、全国で増加傾向にある孤独死問題について、白山市の対策を示せ。②18年連続で



猛暑なんか何のその、みんな元気な運動会！



岡田 俊吾 議員

Q 学校の統廃合と通学区の変更をいかに進めるのか

A 地域の同意を得て通学区を変更したい

同一市徐々に統一を

質問 下水道建設費の一部を住民が負担する受益者負担金を統一せよ。

市長 鶴来地区の整備計画は平成25年度を目標に事業を進めており、整備終了と同時に統一していきたい。

質問 農業集落排水は、処理施設が多ければ維持費も多くなるが、統一できないか。また、公共樹の設置も統一できないか。

上下水道部長 白山市において、各施設の効率性や施設の老朽化等により、公共下水道と農業集落排水を統一するよう考えているが、各官庁はまだ協議を行っている。公共樹の設置については、次の整備に入る時点で統一していきたい。

質問 市民の衛生、健康を考えると、

下水道に切り替えてできない育委員会に求める旨の発言があったが、教育委員会の見直し協議は。

上下水道部長 施設の老朽化、技術者の不足、高齢化等で管理に苦慮されており、今後、地元と協議しながら公営化に向け検討していきたい。

教育委員会委員長 通学区

質問 学校における道徳の時間の現状と今後の方針を示せ。

教育長 現在の白山市では、中学校では平均36時間、小学校では平均38時間実施している。教育委員会では、授業内容を充実させることに力点を置き、授業研究、教材開発、指導法の工夫・改善などの研修講座を開催している。今後道徳教育の充実を図り、取り組みを重視する。

質問 学校の統廃合や市長が通学区の見直しを教

育委員会に求める旨の発言があったが、教育委員会の見直し協議は。
 地域の同意を得られれば、通学区の変更を実施していきたい。また、地域を割らず円満な形で整えればよいと思う。
 今、公表されている学校以外の建て替えの年度計画があるのか。
 当面は、耐震化あるいは緊急な所は改築等も出てくると思うが、今後広い意味に立ち、検討していく。



小川 義昭 議員

Q 市内の商店街活性化策を示せ

A 地域商店街活性化法に基づく
計画策定を進める

市内の商店街活性化策について

質問 「ジョイモール」閉鎖に伴い、高齢者など地域の人たちが自由に歩いて買い物などを楽しめる環境が大きく変化し、利便性が大きく損なわれた。今後の取り組みなど対策を問う。

産業部長 組合、商店街、商工会議所の前向きな議論に期待し、地元主導の活性化策を行政としても積極的に支援していきたい。

質問 大型スーパーやホームセンターの進出は、地域住民の理解を得るとともに、まちづくり計画との整合性は図られているのか。

建設部長 大型店舗の進出は、地元との協働で作成したまちづくり計画に整合しており、産業振興面を考えると既存商店街の活

性化策が大切である。

質問 松任、美川、鶴来地域における商店街活性化策は、地域商店街活性化法の活用の方が適している。

認定に向け、早急に国への申請を求め、同時に、地域商店街に係る部署間で、庁内に横断的なプロジェクトチームを設置してはいかがか。

市長 それぞれの地域で商店街活性化事業計画が策定されるよう、必要な支援、指導を行い、庁内横断的なプロジェクトチームについては、設置時期を見極めたい。

災害時の要援護者支援策について

質問 災害時の要援護者対策を関係部局間で連携・強化を図るべきである。

北田副市長 関係部局による検討委員会を設け、連

携・強化を図る。

質問 災害時に援護を必要とする人たちの範囲を問う。

魚副市長 障害者、病人、妊婦、高齢者などであり、ひとり暮らしのお年寄りや障害のある方が最優先と認識している。

質問 本市の災害時要援護者の支援プラン策定を問う。災害時の要援護者の避難所での生活が困難であることが問題となっている。福祉避難所の設置指定を問う。また、民間の社会福祉施設と設置協定を結んではいかがか。

市長 支援プランは、町内会や民生委員などの協力をいただき、速やかに策定する。公共の福祉施設や社会福祉法人などに協力を求め、福祉避難所の指定を進めていきたい。



宮岸 美苗 議員

Q 視覚障害に対応する市長選・市議選の選挙公報作成を

A 選挙期間が短いので、可能な方法がないか検討する

選管事務局長

先の参院選では、県選管から視覚障害者協会を通じて、選挙公報の点字版・音声版について周知されていたと考えるが、協会未加入の方で情報が必要な方がいたかどうかは、今後、把握に努めたい。本市では、市民交流センターに点字版を備え便宜を図った。

今後は、点字版・音声版の周知はもちろん、点字投票や代理投票の制度についての情報提供に努める。来年の県議選については、県での作成を働きかけていく。

地域ネットワークづくり

質問 地域ネットワークづくりを考えているか。

健康福祉部長 来年度に策定予定の市地域福祉計画で、見守りネットワークについて検討するとともに、市社協が策定した地域福祉

活動計画との連携を図って意識の高揚を図る上からも効果的である。今後、市民こもりや介護予防が目的の地域ふれあいサロンを全域で拡大するなど、地域での見守り体制の強化を図る。訪問・電話等の安否確認制度の充実にも努める。

質問 アンケートで、定期的な安否確認の電話希望をとってはどうか。

健康福祉部長 11月に民生委員による高齢者の実態調査があり、それに合わせて希望世帯を把握したい。

質問 緊急通報装置の設置を積極的に呼びかけよ。

健康福祉部長 一層の周知を行い、利用拡大を図る。

質問 地産地消宣言と、地産地消サミットの開催を、

産業部長 地産地消宣言は、対外的アピールからも市民意識の高揚を図る上からも効果的である。今後、市民意識の高まりの中で前向きに検討する。地産地消サミット開催については、対象自治体や開催効果など、今後研究していく。

就学援助

質問 援助費を前払いに。援助費目の追加と、手続きの簡便化を図れ。

教育部長 今年度、学用品費、通学用品費の一部前払いを実施し、修学旅行費は支給月の繰り上げを行う。今年度から援助費目対象となったクラブ活動費等を追加することは、本市の財政状況から見て困難だ。

質問 地産地消宣言と、

また、現在約1200件の申請があることから、ものを申請することから、正確を期す上で、所得証明等の書類添付が必要であることを理解してほしい。



大口 英夫 議員

Q 白山白峰温泉スキー場の
総括は

A 今後、観光から
競技専用のスキー場へ

質問 スキー場対策特別
委員会において、白峰温泉

魚副市長

当面、2年間の
運営であり、総括には早い

スキー場は、2年間のみ運
営を継続し、県負担金は昨
年11月以来変わっていない
。私1名が反対であった。
スキー場問題は、6力所あ
るグレンデの経費、年間総
額10億円、市民1人当たり
1万1500円の負担をど
のように減らすかというも
のだ。しかし、白峰温泉ス
キー場と白峰クロスカント
リー競技場は競技性を持っ
ているので、10年、20年後
を見据えて、今はつきりと
方針を決めなくてはいいな
いという考えであったから
だ。また、市長が議長が知
事とトップ会談をして、県
から3年後の運営補助につ
いてしっかりと言質をとっ
ておくべきであった。総括
はいかがか。

ボランテニア等、村人が一
つとなつて取り組んでこら
れたいと思う。中には、行政
と議員、職員、民間で、け
じめのないつき合いがされ
ているのではないか。私た
ちが一概に、それは駄目だ
と思うことはできないと思
う。しかし「村の常識は、
市の非常識」があるのでは
ないか。
河内支所長 合併前は、規
模の大小や地域の事情など
により、行政運営や手法に
相違があった。しかし、合
併協議会で各自自治体が相違
の認識と解消に向けて協議
して白山市が誕生し、6年
目を迎えている。支所は職
員の人事交流や本庁との連
携を密にして行政運営を行
っている。「村の常識、市
の非常識」はないと思う。
山ろくで驚くこと
がある。例として、旧村は
人口が少なく、村一丸とな
って何にでも取り組んでこ
られたと思う。政治、祭り、



永井 徹史 議員

Q 白山ろくの空き家へ、
有効な活用策を講じよ

A これまでの施策の転換が
必要、支援策を検討する

「空き家調査」の見直し

企画財政部長

空き家を「体
やすことを目的とすべき。

白山ろく地域の定
住促進を図るため、「空き家
調査」が実施されているが、
前回2年前のような売買等
成約ゼロの低調な結果を心
配している。

人口減少が
「賃貸住宅」として活用す
ることは有効であると認識
している。市として支援策
が講じられるよう検討して
いきたい。

イベント化やふるさと教
育の側面等、内容を拡充し、
白山ろく地域の過疎化・定
住促進問題についての情報
発信、取り組みのPRとな
るよう調査方法を見直すべ
き。

「空き家調査」の内容変
更を検討したい。
空き家への支援策を

調査結果をしっか
りと把握・分析し、文化的
資産価値の高い空き家は
「体験型・交流型の居住施
設」や「賃貸住宅」として、
居住環境を整備するよう支
援を行うべき。

市長 前回は所有者の意
向が十分確認できなかった。
今回は、詳細に実態把握で
きるよう進める。

企画財政部長
田舎暮らし体験に
ついて、積極的に誘致を訴
え、交流人口増加と受入地
域の活性化につなげよ。

質問 今回の調査では、
定住促進、空き家の売買の
結論を急ぐより、まず、空
き家を利用し、白山ろくで
の暮らしを体験する機会を
つくり出し、交流人口を増
き強化を図るべき。

今後の「空き家調査」も、
交流から滞在、滞在から定
住というプロセスを念頭
に、間断なく持続性を持つ
て計画的に取り組んでいき
たい。

今後の「空き家調査」も、
交流から滞在、滞在から定
住というプロセスを念頭
に、間断なく持続性を持つ
て計画的に取り組んでいき
たい。



小島 文治 議員

Q 学校薬剤師の報酬の引き上げ検討を

A 謝礼金額について十分に検討する

学校薬剤師の活動状況は

質問 学校薬剤師の多くは一人薬剤師で薬局を経営しているため、薬局を閉めてから活動している。本市の現状はどうか。

の販売体制の変更や担当する学校数などを考慮し、検討する。

民生委員の選考に当たり選考基準を問う

教育部長 法に基づき、小・中学校、幼稚園で現在、16名委嘱している。その職務は、学校環境衛生の検査や維持・改善、児童生徒の健康相談、保健指導など多岐にわたっている。

質問 今年12月、民生委員228名の一斉改選に当たり、その選考基準を問う。

市長 社会福祉に理解と情熱があり、地域実情に精通し、自主性や奉仕の心を持って、積極的な活動ができる方としている。

民生委員の職務遂行上の義務とは

質問 新しい学校薬剤師の引き受け手がない現状である。その報酬は県内他市より低額だ。引き上げについての検討が必要と考えるが、見解は。

教育部長 平成17年度以降、1校当たり年間4万円の謝礼金を支払っているが、法の改正があり、薬局

活動の円滑な実施のためには、個人情報提供を受ける必要がある。守秘義務も課せられているため、一歩踏み込んだ相談ができない場合があるが、個人情報の開示の考え方を問う。

健康福祉部長 地域ごとの委員協議会を通じ、研修会等が開催されるなど、委員相互の相談や悩みを解決する場となっており、各種研修会に積極的に参加している。

魚副市長 問題解決に向けて必要とする情報の収集が困難となる場合、市との適切な連携の下、必要な情報の共有を図り、迅速かつ的確な対応が図られるよう支援していく必要があると考える。

民生委員の負担軽減策は

質問 委員は、個別相談活動や日常的支援活動を行うために、使命感を感じると思っている。負担軽減策はどうか。

委員は、個別相談活動や日常的支援活動を行うために、使命感を感じると思っている。負担軽減策はどうか。



西川 寿夫 議員

Q 床昇降式プールの建設を

A これからの大きな検討課題

質問 床昇降式プールとは、プールの底が昇降式で、すのこ状の床が、子どもたちの身長に合わせて1・5mからゼロmまで調節でき、安全で水球等にも使用可能な多目的プールである。プールとして使用しないときは、可動床を上げ、人工マットや人工芝を敷き、多目的室、多目的広場

として使用できる。これからは、朝日・松南小学校の移転改築がある。床昇降式プールの建設はどうか。

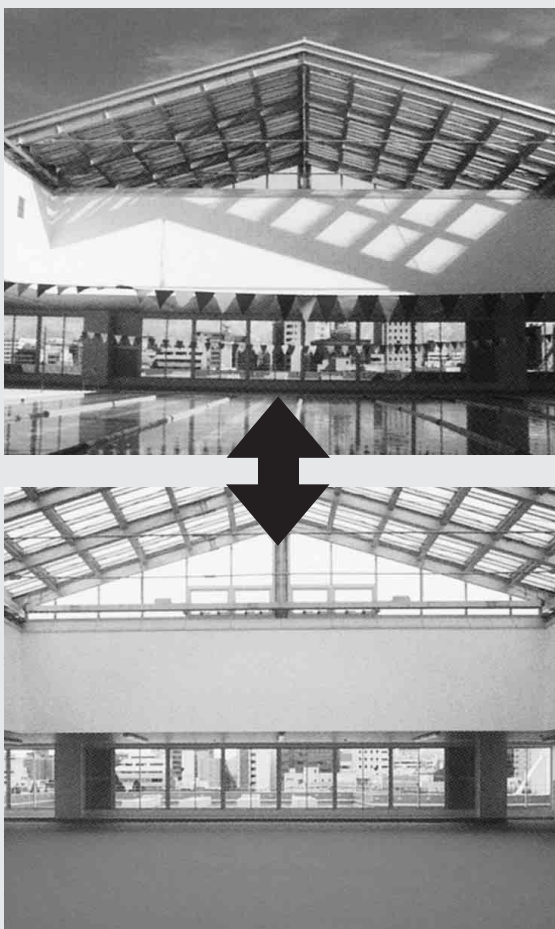
市長 通常のプールより高額な建設費や衛生面の維持管理費が必要となる。朝日・松南小学校では、床昇降式プールの建設は現在のところ考えていない。

また、市内の中学校・高校では水球が盛んに行われているが、水深の浅いプールしかなく、練習に困っている。既存の学校や公営プールの全面改修などが必要になる際には、検討課題、研究課題とする。

また、市内の中学校・高校では水球が盛んに行われているが、水深の浅いプールしかなく、練習に困っている。既存の学校や公営プールの全面改修などが必要になる際には、検討課題、研究課題とする。

また、市内の中学校・高校では水球が盛んに行われているが、水深の浅いプールしかなく、練習に困っている。既存の学校や公営プールの全面改修などが必要になる際には、検討課題、研究課題とする。

また、市内の中学校・高校では水球が盛んに行われているが、水深の浅いプールしかなく、練習に困っている。既存の学校や公営プールの全面改修などが必要になる際には、検討課題、研究課題とする。



ガラス屋根開閉式屋上プール
(プールの床は昇降式でプールから人工芝の床に)



石地 宜一 議員

Q 音声告知放送事業の継続を

A 地域にふさわしい
情報伝達手段で検討中

質問 音声告知放送事業の継続について問う。

市長 音声告知放送は、非常に大切である。皆さんも利用しておられるため、ぜひとも地上デジタルを使用する場合、十分に検討し、皆さんから喜ばれる「あさがおテレビ」に持っていくように努力し、今後検討する。

質問 放置自転車対策と有効活用について問う。

市長 自転車の駐車場の整備をはじめ、自転車駐車場以外での駐輪防止の呼びかけを、シルバー人材センターに業務を委託している。松任駅の改修と新幹線の工事を終え、駐輪場を設けることを計画していく。

質問 高齢者の所在不明の確認について問う。

市長 白山市に住民票を

持っている高齢者は全部確認をして、所在も確認した。健康福祉部長 100歳以上の高齢者で、戸籍上は生存になっている所在不明者は、海外移住や戦災で家族全員が死亡した場合などによるもので、今後、法務局の指導を受け、消除の手続きを進める。

質問 放置自転車対策について問う。

市長 自転車の駐車場の整備をはじめ、自転車駐車場以外での駐輪防止の呼びかけを、シルバー人材センターに業務を委託している。松任駅の改修と新幹線の工事を終え、駐輪場を設けることを計画していく。

質問 高齢者の所在不明の確認について問う。

市長 白山市に住民票を

持っている高齢者は全部確認をして、所在も確認した。健康福祉部長 100歳以上の高齢者で、戸籍上は生存になっている所在不明者は、海外移住や戦災で家族全員が死亡した場合などによるもので、今後、法務局の指導を受け、消除の手続きを進める。

質問 放置自転車対策について問う。

市長 自転車の駐車場の整備をはじめ、自転車駐車場以外での駐輪防止の呼びかけを、シルバー人材センターに業務を委託している。松任駅の改修と新幹線の工事を終え、駐輪場を設けることを計画していく。



松任地域で使用中の音声告知放送の機器



宮中 郁恵 議員

Q 放課後の子どもたちの在り方、
どう取り組む

A 地域の応援、学校と指導者が
協力・連携していく

質問 朝日・松南小学校建設に当たり、関係する放課後児童クラブを校舎内に併設する、しないで賛否が分かれている。単に施設を併設が単独かを問う問題ではない。市は、放課後子どもプランを明確に示し、関係者に十分な説明をする責任がある。放課後の子どもたちの在り方をどう取り組んでいくのか。

教育委員会委員長 児童クラブの児童は、それぞれの学校と児童クラブが互いに連携し、協力して、児童たちが有益な放課後を過ごすことができるようにすべきである。

質問 朝日・松南小学校建設に当たり、関係する放課後児童クラブを校舎内に併設する、しないで賛否が分かれている。単に施設を併設が単独かを問う問題ではない。市は、放課後子どもプランを明確に示し、関係者に十分な説明をする責任がある。放課後の子どもたちの在り方をどう取り組んでいくのか。

教育委員会委員長 児童クラブの児童は、それぞれの学校と児童クラブが互いに連携し、協力して、児童たちが有益な放課後を過ごすことができるようにすべきである。

質問 子宮頸がんの予防ワクチン接種と予防検診(細胞診・HPV検査)の実施と公費助成を求める

健康福祉部長 島根方式の指導者と学校関係者が協力、連携していくことが極めて重要である。江戸川区のすくすくスクールの取り組みも参考にしたい。

質問 子宮頸がんは、ワクチン接種と検診によって、唯一予防できるがんである。ワクチン接種の公費助成は県内にも広がっている。また、島根方式と呼ばれる細胞診とHPV検査の併用検診は、がんの見落としゼロと注目されており、一番精度が高く効率がいい検診ができる。

健康福祉部長 市内公立病院の院内処方では10〜13%と、順調な使用とは言えない状況である。市民に周知するために、市の窓口で希望カードと一体のパンフレットを配置している。後期新時にパンフレットを郵送、広報でも周知した。今後とも市民への情報提供に努めていく。

質問 子宮頸がんの予防ワクチン接種と予防検診(細胞診・HPV検査)の実施と公費助成を求める

健康福祉部長 島根方式の指導者と学校関係者が協力、連携していくことが極めて重要である。江戸川区のすくすくスクールの取り組みも参考にしたい。

質問 子宮頸がんの予防ワクチン接種と予防検診(細胞診・HPV検査)の実施と公費助成を求める

健康福祉部長 島根方式の指導者と学校関係者が協力、連携していくことが極めて重要である。江戸川区のすくすくスクールの取り組みも参考にしたい。

市長 ワクチンの公費助成については、検討したい。



本屋 彌壽夫 議員

Q 新設白山警察署で運転免許証の交付ができないか

A 優良運転者を重点に交付ができるようにお願いする

質問 自給率向上と水田フル活用の取り組みとして、米・大麦・麦後大豆の2年3作体系の生産を推進するとあるが、現在示されている補償制度で農家所得の増加が見込めるか。

市長 水稲では1万5000円、転作作物についても松任地区の大豆では5万9300円が交付される。自給率向上に積極的に取り組む農家が不利とならないよう、関係機関と連携して国に対して強く要望する。

質問 新設白山警察署に防犯や交通安全の勉強ができる多目的な部屋、また、自動車運転免許証の更新手続きができるようになるか。

市長 新設白山警察署でも更新手続きができるよう県警察本部へ強く働きかけ

質問 運転免許証の返納者に対して、運転免許証が身分証明証になっていることから、市は住基カードの無料配布ができないか。また、「コミュニケーションバス」の無料乗車券の配布をすればどうか。

市長 水稲では1万5000円、転作作物についても松任地区の大豆では5万9300円が交付される。自給率向上に積極的に取り組む農家が不利とならないよう、関係機関と連携して国に対して強く要望する。

質問 クマ、イノシシ、

内容が現在検討している。

日本猿が居住地域に出没した場合、猟友会はどのような作業をするのか。



畑へ出てきた日本猿(吉野谷地域)



寺越 和洋 議員

Q 市長の政治姿勢を聞く

A 今以上に精いっぱい励んでいく

質問 「こんにちは市長です」で、市長自ら「今任期で市長をやめると発言されたが、真意の説明を求め。」

市長 首長の職務は4年間の任期を市民のため務め上げることが重要であり、選挙によって市民から選ばれた責務である。したがって、今回の発言は、今後残された2年半の責務を、今以上に精いっぱい励んでいく決意表明であり、指摘されるような市民の不安や不信感、職員の緊張感の欠如や市民サービスの低下につながるものではない。

質問 認知症高齢者、知的・精神障害者の行方不明等の事故を未然に防止するため、GPS位置確認システムを利用した支援事業を

市長 新設白山警察署でも更新手続きができるよう県警察本部へ強く働きかけ

関係者へ周知せよ。また、高齢者に短期間の貸与も検討せよ。

健康福祉部長 民生委員や住宅介護支援事業者等を通して、一層の周知を図り、利用者の拡大に取り組む。短期間の貸与制度は検討する。

質問 除排雪の住民の苦情対策やコスト削減からGPS活用除排雪作業導入を検討せよ。

建設部長 大変有効なシステムであり研究する。

質問 市の発展のため職員研修は重要であり、新人職員研修を具体的に示せ。

市長 白山町、月橋2号、清沢町下の3地区は、平成26年度までに完成の見込みである。

建設部長 町内会ごとに避難訓練等を行い、避難体制強化と防災意識高揚を図る。

市長 新設白山警察署でも更新手続きができるよう県警察本部へ強く働きかけ

公共施設の見直し及び 指定管理施設の更新

総務企画常任委員会

先駆的里山保全地区支援事業 について

質問 景観保全のための石積み修復の箇所は、現在、耕作をしているのか。

答え 4 haの石積みのうち、1 ha程度は山菜を栽培している。残りは耕作放棄地である。

質問 石積みの修復だけにとどまらず、放棄地は補助をしても管理をする必要があるのではないか。

答え 復旧計画ののっとり、稲作や花畑にするなど、地区と相談し、継続性のある管理を考えたい。

公共施設の見直し及び 指定管理施設の更新について

質問 同一敷地内及び関連施設についてはまとめて公募するが、地域の雇用面を考慮し、地域やエリアで施設をまとめ、公募することはできないか。

答え 雇用については、業務仕様書の中に項目を盛り込み、地域の雇用につなげていきたい。

質問 休止等の施設について、代替施設の周知をどのように考えているのか。

答え 廃止・休止施設については、担当課が地元との協議の際に方針を示し、代替施設を市民へ公表していくこととする。

白山市過疎地域自立促進計画 について

質問 ソフト事業の計画の実行を見据え、基金として積み立てることは可能か。

答え 今回は、基金として積み立てず、ソフト事業である祭り関係の事業費や観光施設の維持管理費に充てることとする。

質問 旧吉野谷小中学校をそのままにしておく廃虚となる恐れもあり、環境整備の面から解体を過疎債の対象とできないか。

答え 解体後に過疎債の対象となる施設を建設するのであれば対象となる。

意見 産業の創造と雇用の拡大が重要であり、白山市として新しい雇用創出を図っていただきたい。



里山保全地区支援事業の棚田の石積み(木滑・吉野谷地域)

世界ジオパーク認定に向け、 力を入れてはどうか

文教福祉常任委員会

認定に向け、 市長が先頭に立ってやるべき

質問 白山市の世界遺産登録について、到底見込みがないのであれば、ジオパーク認定に向け、世界遺産よりも比重を高くして取り組んでどうか。白山市にはジオパークとして認定されるのであれば、対外的にもアピールしながら観光と結び付け、一体化した中で計画を立てていく必要がある。

ジオパーク推進室を作ることも検討できればよい

答え ジオパークの認定はかなりハードルが高い。ジオパークは、世界遺産で調査した禅定道も含まれる見込みであり、官民一体でないと認定されない。新年度予算に向け、市長部局とも十分検討し、まず、日本ジオパーク認定について力を入れて頑張りたい。

体育施設となる白山市白峰 スキー競技場施設の予算は

質問 白山市白峰スキー競技場の運営費は所管替えとなるが、県からの支援金のアルペン・クロスカントリーの割り振りは、どのようになるのか。また、来年度からは、すべて教育部局の予算となるのか。

休止部分は従来どおり観光推進 部で執行し、来年度は協議する

答え アルペン・クロスカントリー競技場の支援金の割り振りは8対2の比重となる。今年度は、観光部局と教育部局の両方からの予算執行となる。来年度予算編成時に効率的な運営となるように協議していく。



ジオパーク認定で魅力アップ白山市（上空から見た手取川扇状地）

生活経済常任委員会

住宅用太陽光発電システム等設置費補助

説明

市では、住宅用太陽光発電システム等を設置した市民に対し、設置費の一部を補助しているが、平成22年度については、4月から7月までの実績を踏まえ、8月から来年3月までの8カ月間に100件の申請を見込み、今回、予算の不足分を計上する。

質問

補助申請における新築住宅と既存住宅の割合は。

答え 今年度は、これまでに54件の申請があり、新築住宅が14件で全体の26%、既存住宅が40件で74%となっている。

このほか、補正予算の主なものとは次のとおり。

- ・林道白尾1号線崩壊復旧事業
- ・大嵐山園地取水施設修繕工事
- ・一次避難場所の表示看板設置事業

その他報告事項について

今年度からスタートした国の戸別所得補償モデル対策事業について、7月末現在の加入申請件数等の報告があった。

質問 戸別所得補償制度は、米を作る農家が対象なのか。野菜等を作る農家に対する補償はあるのか。

答え 戸別所得補償モデル対策事業は、二本立てになっており、米の戸別所得補償と、自給



市内住宅に設置されている太陽光発電システム

率向上のため、麦、大豆及び野菜等の生産を推進する水田利活用の事業がある。申請資格は、米や麦、大豆及び野菜等を販売している農家にあり、この2つの補償に対する白山市の加入申請件数は、1380件で、参加率は99.6%となっている。

市として、この制度が確実に実施されるように、関係機関と連携し、国に要望していきたいと考えている。

建設企業常任委員会

白山市景観条例

質問

景観重要建造物等の指定等について、市指定の重要文化財などとの関係はどうなるのか。

答え

景観法と文化財保護法の関係については、指定が重複しないことが基本的な考えであり、文化財保護法を優先する。文化財に指定されていないものの中で、景観的に守っていかなければならないものについて景観法で指定していくことになる。届け出の関係についても文化財保護法を優先する。

質問

景観法の指定方法は。

答え 市で指定するものについては、市でピックアップする形をとる。個人的な財産などは所有者の同意を得て指定する。

また、地域からその景観等を守っていくとの申し出があれば、地域で景観まちづくり協議会を設立し、市へ申請していただくこととなる。

質問

市民への景観条例の周知徹底はどのように行うのか。

答え 届け出の関係については、建築士等業者への周知を徹底したいと考えている。市民に対しては、景観計画ができあがった段階で、市のホームページや広報等で周知に努めたいと考えている。

市宮相木住宅建設工事について

質問

建設概要について問う。

答え 構造等は鉄筋コンクリート造3階建15戸で、東側に隣接する



市宮相木住宅（7工区）完成予想図（平成23年9月完成予定）

県営住宅の西側に建設を予定している。

施設の内容については、省エネ、環境対策として、外断熱工法、ペアガラスや高齢者・障害者用にも対応できるようオール電化、リサイクル認定製品を採用し、外灯はLED照明を採用する計画となっている。バリアフリー対策としてエレベーターの設置、床段差の解消、階段・浴室・便所等に手すりの設置等を計画している。また、各戸専用物置、駐輪場、CATV設備の導入などを計画している。

住宅タイプとしては、1階に障害者・高齢者向け住宅を3戸と車いす対応の住宅も2戸計画している。

文教福祉常任委員会

7月14日から16日にかけて、岩手県北上市、花巻市及び宮城県東松島市を視察研修しました。

岩手県 北上市

がん対策基金活用事業

北上市では、家族をがんで亡くした市民からの寄付金を契機にがん対策の基金条例を設け、がんに関する学習会や啓発セミナーなどを実施しました。平成6年に全国で初めて末期がん患者の自宅療養を支え、自宅で最期を迎えたいという望みに応え、地域が支える「北上方式」と呼ばれたがんの緩和ケア事業をスタートさせました。平成21年度には、新たに「がん対策基金活用事業」として、相談窓口の開設、頭髮等補正具の助成、介護用品等の補助やボランティアの養成、患者の会のバックアップを行っていました。この北上市の試みは大いに学ぶべきものがあると感じました。

岩手県 花巻市

公民館から振興センターへ

花巻市では、平成19年から市民協働のまちづくり「小さな市役所」事業に、公民館を前身とした振興センターを開設しました。地元出身の課長級職員、事務職員が常勤

し、地域づくりの支援や助言、市役所窓口業務を行っていました。振興センターごとに自治活動組織のコミュニティ会議が設置され、地域課題を解決するため、同会議に総額2億円の地域づくり交付金を交付し、身近な懸案事業がスムーズに実施できる体制となっていました。この「小さな市役所構想」により、今までの行政頼みの意識から、自分たちのまちは自分たちで運営するという自立した意識が芽生えたとのことでした。

宮城県 東松島市

公民館から市民センターへ

東松島市では、地域づくりの総合拠点として、公民館に市民センターを併設し、平成21年度からは公民館条例を廃止、地域自治組織がセンターの管理運営を行う指定管理者制度に移行しました。また、市の人件費の抑制、迅速な住民ニーズの対応が目標で、市民センターでまちづくり計画を策定し、計画した事業ごとに交付金が配分され、事業を行っていました。まちづくりにおいて、自分たちのまちは、自分たちでつくるという視点が最も重要であると教えられました。これからの本市における公民館活動にも大いに参考になるものと思われまます。

地域主体の取り組みと行政のバックアップ

生活経済常任委員会

7月12日から14日にかけて、北海道を視察研修しました。

札幌市

シーニックバイウェイ
北海道支援センター

この事業は、地域と行政が連携し、景観や自然環境に配慮した中で、地域の魅力を道でつなぎながら、个性的地域、美しい環境づくりを目指す施策です。

地域主体を大切に考え、熱意ある取り組みが認められた段階で初めてルートとして指定され、同時に地域の自治体が行政連絡会議を設立するなど、行政がルート運営を支援する仕組みづくりがしっかりと構築されていました。

洞爺湖町

チーム洞爺湖
マイナス50%事業計画

美しい環境対策先進観光地づくりを目的に、洞爺湖地域温暖化対策まちづくり協議会が設立され、事業所が主体となり、CO₂削減のために9事業に取り組みました。協議会では専門家から、「経費削減につながる」「投資費用は10年以内に回収可能」等具体的に説明してもらったことで、事業所の取り組み意欲を引き出すことに成功しました。

小樽市

観光施策

小樽市では、現在、年間約700万人の観光客が訪れています。

観光動態調査の結果から、近隣での情報発信を積極的に行うほか、日帰りから宿泊滞在型観光への移行や、より質の高い時間消費型観光を目指し、魅力づくり等に努めるとのことでした。また、小樽らしさを演出しながら、鉄道廃線の活用や産業の創出など、市の課題となっている複数の事柄をうまく結び付けて事業を実施する工夫がされていました。

むかわ町

たんぼdeミュージカルについて

むかわ町の高齢者集団（会員数91名・平均年齢80歳）が映画制作を行っている事業で、現在4作目を撮影中です。

まだまだ現役という意識の目覚めや自信が生きがいを与え、高齢者を元気にし、町も元気にした事例ですが、高齢者たちの熱意が事業の継続につながり、行政を動かしました。

まちづくりにおける 新幹線車両基地誘致の効果

建設企業常任委員会

7月13日から15日にかけて、青森県八戸市、宮城県大崎市及び宮城郡利府町を視察研修しました。

青森県 八戸市

下水処理場から発生するバイオガスを利用した電力供給事業

この事業は、平成15年4月から独立法人新エネルギー産業技術総合開発機構の委託事業であった実証研究「八戸市水の流れを電気へ返すプロジェクト」終了後の設備の有効利用を目的としています。

実証研究は、下水処理汚泥から発生するメタンガスを使用したバイオガスエンジンや太陽光発電装置等で発電した電気を14kmの送電線で学校4校と市役所に電気を供給するというものでした。

実証研究終了後、八戸市がその設備を継承し、現在ではバイオガスエンジンにより発電された電気は市役所へ送電され、年間使用電力の約44%を供給しているとのことでした。

宮城県 利府町

車両基地を活用したまちづくり

利府町は、仙台市に隣接し農業を基幹産業とする町で、人口は、昭和50年の国勢調査では9712人でしたが、現在では約3万3700人となり、商工業・観光のまちへと発展してきています。



利府町の新幹線車両基地

その要因は、昭和40年代から50年代にかけて、進められた宅地開発と新幹線車両基地建設の相乗効果であり、その背景には、今もなお進められている大規模な宅地開発による人口増、郊外型の大型商業施設の進出による近隣市町村からの人の流入などがあります。

新幹線車両基地には、現在540人のJR東日本の従業員が就労しており、その他関連企業の従業員を含めると140人が従事しています。

新幹線車両基地の誘致は、変動のない税収の確保、町の産業振興や住民の雇用状況等を考えるとメリットばかりであると町長は述べられました。

その他大崎市では、土地利用計画について視察してきました。

特別委員会活動報告

議会改革

特別委員会

市内各種青年・女性団体との懇談会を開催

当委員会では、4月15日に市内各種青年団体、8月9日に女性団体とそれぞれ懇談会を開催しました。

◎青年団体

白山商工会議所・美川商工会・鶴来商工会・白山商工会の各青年部、JA松任の各青年部、JA白山青壮年部 計15名

◎女性団体

白山市女性協議会、白山商工会議所女性会、美川商工会・鶴来商工会・白山商工会の各女性部 計12名

懇談会での主な意見

■マスコミ等で報道されている内容について、世間の人は都合の良いことだけを理解することが多く、議会から説明してもらえようと市民の理解が得られやすい。
■前回の選挙が無競争だったことは、市議会に対し問題提示がなされているのではないか。
■議員定数・報酬を議論する際は、密室の中で行うのではなく、多くの市民を巻き込んで議論すべきだ。

■市民の声を最初に聞き出すのが市議会議員であり、懇談会という機会を設けたことは最初の一步。それをさらに進めていただけるよう期待している。

スキー場対策 特別委員会

白山市白峰スキー競技場(旧白山白峰温泉スキー場並びに白峰クロスカントリー競技場)の運営について

白山市のスキー場の在り方を検討しているスキー場対策特別委員会は、これまで7回にわたり委員会を開催しました。

8月10日の委員会では、白峰スキー競技場について、平成22年度、23年度の2年間は継続し運営することになりました。

白峰スキー競技場は、県内唯一の全日本スキー連盟公認コースを持つ競技スキー場であり、地元白山ろくはもとより石川県全体の競技力向上と選手の育成強化のため、強く存続が求められていたものです。

白峰スキー競技場の運営については、県から今後2年間は、年1000万円の支援が継続されることが見込まれており、引き続き県に対し、さらなる支援を求めていることを申し合わせました。



白山市における小児の夜間受診

石崎 久美子さん（千代野西二丁目）

4歳と2歳の幼児を持つ母親です。幼い子どもは夕方から夜間にかけて、急な熱や症状が悪化する傾向にあるように感じます。

普段、多くの子どもが地元の小児科にかかっています。夜間に対応してくださる小児科はありますが、診ていただける小児科さんにどれくらい甘えさせてもらって良いものか。地元の小児科さんは休診日はありますが、休診日も病院を開けてくださっている医院が多くあります。

休むに休めない状況で、夜間にもまたいつ急な電話がかかってくるとも分からない日々。そんな状況が続けば、いつか地元の小児科の先生は体を壊してしまうのではと思います。

白山市の公立病院は、夜間の小児科の受け入れが困難で、金沢市の2つの病院（車で30分以上）へ行くように勧められます。

状態の悪い子どもを抱え、遠くの病院へ行くのは大変なことです。

“白山市の子どもたちを白山市で守れる”そんなガイドラインが作られると、白山市で安心して暮らせると思います。



教育環境に必要なものは

吉田 隆之さん（美川中町）

美川小学校は、新校舎への建替工事が完了し、真新しい校舎には、児童の元気な声が響いています。校舎の建て替えにより、児童の教育を受ける環境は、セキュリティ一面を含め、格段に向上し、安心して子どもたちを送り出すことができます。また、今年度には、小・中学校合わせて7校の増改築事業費の計上と、2校の建設に対する基本構想検討委員会が設置されました。市内全域のますますの教育環境充実に向けた予算の

配分・検討に期待します。

一方で、幼稚園、保育園での正規職員の少なさが異常な状態であると、文教福祉常任委員会で回答が出ていますが、この状態を放置しておくことの方が、異常ではないでしょうか。人員削減目標を達成するために、一律に人員を削減することは、決して良い方策とは言えないと思います。必要とされる所に、適切な人材の速やかな補充の検討と提言をお願いします。そして、「箱物」ばかりに目を奪われることなく、ソフト面の充実に向けた対策を促せる議会になることをお願いします。



市議会定例会で答弁する故角光雄 市長

平成22年10月24日、角光雄
白山市長がご逝去されました。
故角光雄市長は、平成10
年に旧松任市長に当選され、
平成17年には合併により誕
生した白山市の初代市長に
就任し、新市の基礎づくり
に尽力されました。昨年2
月には無投票で再選され、
市民の目線に立った施策の
実行に努め、未来に向かっ
て、夢あふれる住み良い
「白山市」づくりを積極的
に推進し、白山市の発展に多
大な貢献をされました。
生前の多くのご功績に敬
意を表し、ここに謹んでご
冥福をお祈りいたします。

編集後記

今年の夏は、全国的に記録的な猛暑に見舞われ、多くの熱中症患者が病院に搬送されたほか、台風や大雨により多くの住民が被害を受け、さらに高齢者所在不明の問題などあまり好ましくない話題が世間を騒がせました。こうした中で9月議会の一般質問でも、本市における高齢者の所在把握の確認や熱中症対策についての質問が多く出されました。今後も一般質問や委員会での審議、活動状況などを分かりやすく市民の皆さんにご報告し、「より身近な議会だより」を目指して、その作成に編集委員一同、懸命に取り組んでまいります。

(編集委員一同)

編集委員会

委員長：小島 文治 副委員長：永井 徹史

委員：石地 宜一、森本 茂、古河 尚訓、北川 謙一